

批判精神を持つとう

生徒諸君の多くは、毎日授業を受けて、放課後の部活動等に打ち込み、家に帰ります。これが普通の高校生生活のパターンです。高校生の社会的存在感が乏しくなってきたと指摘する人もいます。高校生が政治・経済や社会の動きに関心を持ち、相互に議論し、発言する機会が少ないからかもしれません。多くの高校生が勉強と部活動にエネルギーを注ぎ、そこに専念することをよしとする風潮があることも事実です。昔も今もその風潮は同様です。今の高校生の多くは、新聞や読書に時間をかけなくなつた分、社会に対する批判精神を育む機

会が（一部の人を除き）少ないことも事実です。周りを見れば、勉強や部活動一辺倒の人、遊び優先の人、勉強と部活動を両立させている人、家計を支える人、家事を手伝う人、打ち込むものが見つからず苦しい思いを持っている人もいます。全ての経験が必ず生かせるのも人生ですが、大切なことは一途にベストを尽くし、常に批判精神を持って生きていくことです。高校生は、自立していませんが、社会の一員であることを自覚し、社会の出来事に敏感に反応し、批判精神を持って生きていくことです。現在は18歳の人に選挙権が与えられました。自分の責任で議員を選ぶためにもバランスの取れた批判精神が求められています。

○9月の歌 および
秋の野に咲きたる花を指
折りかき数ふれば七草の花
『万葉集』山上憶良
○「九」のしきたり
①旧暦9月9日はどんな日
陰陽道では奇数は陽の数
であり、「9」は最も大きい陽の極数です。それが二つ重なることから「重陽」と呼ばれ最高に縁起のよい日とされてきました。
②7月9日の「ほおずき市」
浅草の浅草寺の観音信仰では、9日10日に参拝するとその功德は「四万六千日」の参拝に相当するとされ、参拝者を集めてきました。かつて門前の市で雷除けの赤いトウモロコシを売っていましたが、ある年不作で、代わりにほおずきを売ったら人気を呼び、今日の市になつたのだそうです。